

## ■平成30年度第3回（第287回）都市経営戦略会議結果概要

【日 時】 平成30年6月27日（水）午後2時30分～午後3時30分

【場 所】 政策会議室

【出席者】 市長、日野副市長、高橋副市長、松本副市長、水道事業管理者、教育長、都市戦略本部長、総務局長、財政局長、総合政策監、市民局長

【議 題】 さいたま市市民保養施設六日町山の家のあるり方について

### < 提 案 説 明 >

さいたま市市民保養施設六日町山の家のあるり方について、市民局から次のような説明があった。

- ・本件は、六日町山の家について、現指定管理期間終了となる平成31年度末に、閉館・廃止としてよろしいかを審議いただくものである。
- ・六日町山の家は、築44年が経過し老朽化が著しく進み、耐震性が劣っていることから（構造耐震指標（Is 値）0.3未満のランクⅢ）、現況のまま運営することは危険性が高い。
- ・改修又は建替えとした場合、エレベーター設置を含む耐震改修では約12億円、建替えでは約20～23億円の多額の市費負担を要することに加え、建物が既存不適格物件に該当、敷地が国の指定史跡区域及び南魚沼市の計画区域に該当していることから、諸々の規制・制限をクリアする必要がある。
- ・近年は利用者数が減少傾向にあり、「一泊あたり利用者負担額<一泊あたり市費負担額」という状況の中、毎年度、約5,000万円もの市費を投入している。
- ・民間事業者への現状有姿での施設受入れの可能性は皆無に等しいことに加え、南魚沼市での施設受入れも不可である。また、周辺の宿泊業の進出状況、観光客増加の見込みは芳しくないという状況にある。
- ・以上のことから、平成31年度末に施設を閉館するとともに、建物を解体し、更地としたうえで公売等の新たな可能性を模索していく。
- ・施設廃止後の南魚沼市との交流については、東日本連携における各種取組を含め、時代に即した新しい交流のあるり方を検討し、推進していく。

### < 意 見 等 >

- ・廃館後の解体は、コストを抑制し、かつ効率的に進めていくこと。  
→早期に解体実施設計にとりかかるとともに、現地（南魚沼市）の気候等の状況も踏まえ、工程を検討していく。
- ・施設の建て替え、修繕の検討に関する費用試算はわかりづらいので、簡潔に市民にわ

かりやすい表現にすること。

### < 結 果 >

さいたま市市民保養施設六日町山の家のある方については、原案のとおり了承とする。ただし、以下の点に留意すること。

- ・ 施設の廃止について、コスト縮減を意識したスケジュールを検討し進めること。
- ・ 施設の改修・建替えに伴う市負担額の試算について、算出方法を整理し簡潔に表記する等、検討を行うこと。
- ・ 施設廃止の理由について、市民によりわかりやすい表現で表記する等、検討すること。

### < 会 議 資 料 >

(資料) さいたま市市民保養施設六日町山の家のある方について